

# 道

2017年7月

▼「ふうがわりい」。岡山弁で「世間体が悪い」というような意味です。「この言葉を久しぶりに聞きました。▼したい放題で家族や周りの思いを無視して酒を飲み続け重い病気になった男性がいます。家族は彼に絶望してしまいました。彼が病院と老人施設で数カ月過ごした後に自宅に戻ることになり関係者が集まりました。その席で彼の介護にヘルパーを頼もうという声が出たとき、男性の兄から出た言葉です。「嫁や子供がいるのに）ふうがわりい」。この言葉には、その土地の価値観や倫理観、文化が背景にあります。そうした「文化」がそこに生きる人を縛ります。▼今、僕が読んでいる本にこう書かれています。「文化がなんといおうと知っちゃいけない」「恥ずかしかるのはやめよう」（ミッチ・アルボム『モリー先生との火曜日』）。ALSに侵されたモリー先生が「とうとう誰かに尻を拭いてもらうようになった」時の言葉です。▼大事なのは「世間」か。それともそこに生きている「人間」か。彼はなぜ酒に溺れたのか。家族はどのように絶望したのか。今、彼や家族は心の底で何を思っているのか。▼先の本にはこんな言葉もあります。「ありのままの自分を受け入れ、それを大いに楽しむことだ」。▼「人間」を好きになることでしょうか。そして、「そもそも」と考えることが大切のようです。ところで、林さん、そもそも、君の家族はどうなんだい？

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

090-5366-1497

michi-care@outlook.jp

<https://michi-care.jimdo.com/>

林道也

